

令和4年度 第2回狭山市文化財保護審議会 会議録

開催日時 令和4年11月1日(火)
午後2時00分から午後3時30分まで

開催場所 教育委員会室

出席者 高橋(光)委員長、林副委員長、岩本委員、権田委員、高橋(恵)委員、中平委員、
名雲委員

欠席者 橋本委員、宮瀧委員

事務局 滝嶋教育長、内藤生涯学習部長、石井社会教育課長、安井主査、原主事

傍聴者数 0名

議 題

1 令和5年度事業予定について

会議資料に基づき、令和5年度事業予定について事務局より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

委員 堀兼神社二神像修繕について、2年間での実施としたことは良いと思う。2年目については非常に時間がかかるものになると思われるため、できるだけ長い期間を修繕にあてられるよう、配慮してもらいたい。

委員 長く難しい修繕になりつつあるように思う。彩色をするにしても、どのように行うかによって経費等が大きく変わってくる。市と文化財管理者と修繕業者とが、しっかり連携をとりながら進めていくしかない。

委員 補助事業で市の予算の都合もあるだろうが、中途半端なところで終わることのないようにしてもらいたい。

事務局 来年度予算については計上し要求しています。来年度が難しいようであれば、再来年度以降に実施するのは可能かどうか、確認をしております。

委員長 文化財管理者側の負担との兼ね合いもある。場合によっては3年にまたがって実施するということも想定しておいてほしい。

委員 修繕が終わった後の管理の方法によっては、また剥落等が生じてしまう可能性がある。文化財の管理をする、という意識の大切さを文化財管理者に周知してもらいたい。

委員 民俗芸能の振興事業補助について、各団体が発表や練習する機会を失っている中、継続して行ってもらおうと同時に、各団体の活動状況についてしっかり把握してもらいたい。

2 今宿遺跡復元住居等の再整備事業の進捗状況について

会議資料に基づき、今宿遺跡復元住居等の再整備事業の進捗状況について事務局より説明し、質疑応答の後、承認された。

質疑等

委員 復元住居の材は何を使用する予定なのか。

事務局 学校の教材や生涯学習の素材として使用したいため、安全面を重視し、一部のみを本材とし、屋根の葺き替え体験等ができる施設にしたいと考えております。

委員 整備が終わった段階で、今回の復元に関する解説板のようなものを設置してほしい。

事務局 承知しました。

委員 前回の審議会でも話に出たが、奈良・平安時代の住居跡の復元例は少ない。地元住民に対する説明会を開催するとのことだが、広く市民一般にプロセスを公開し、文化財に対する理解を深めてもらえるよう、良い機会としてほしい。

事務局 検討します。

委員 狭山市立博物館の冬期企画展と関連させることはできないか。

事務局 今回の復元の形とは若干異なりますが、奈良・平安時代の家を建ててみよう、といった体験コーナーを設ける予定です。その際、周囲に再整備事業に関する説明パネルを設置します。

その他、各委員から報告等を行った。